

観光型MaaS「三浦COCOON」の実装による分散化・混雑回避事業

観光型MaaS「三浦COCOON」と「Smart Buddy」を連携させ、風光明媚なスポットや施設を巡る観光ルートを設計・発信することで、渋滞の解消など社会課題の解決を図る。同時にモビリティ基盤も整備することで三浦半島の観光周遊化を実現する。

協議会の構成員	京浜急行電鉄株式会社（幹事社）、株式会社アイシン、株式会社サンオータス、みうらレンタサイクル運営協議会、scheme verge株式会社、ジョルダン株式会社、横須賀市、三浦市		取組イメージ
地域課題	<p>【課題①】特定エリアやルートへの集中による渋滞や密集 特定幹線道路への集中や駐車場不足で渋滞が慢性化しているうえ、各所で旅客密集も発生しており、ルートや時期の分散、感染拡大配慮が必要</p> <p>【課題②】観光情報不足による消費機会ロス 「よこすか満喫きっぷ」等で多くの観光客が訪れるが、飲食後の滞在コンテンツや交通手段がわからずそのまま帰宅してしまうため、機会損失が生じている。</p> <p>【課題③】観光拠点を回遊するためのモビリティ整備の必要性 点在する自然環境や店舗施設などを回遊する2次交通拠点が不足</p>		
事業概要	期間	2021年12月16日～2022年3月31日	検証結果
エリア	横須賀市、三浦市エリア ※三浦COCOONファミリーには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加		
MaaSシステム	①観光型MaaS「三浦COCOON」 ②アイシン「Smart Buddy」		
交通サービス	「COCOONモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キックボード、キャンピングカー、ヘリなど		
交通以外のサービス	「三浦COCOONファミリー」参加各団体(2022年3月時点124団体) ※三浦COCOON Familyに参加している自治体、観光協会、アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設等		③事業者連携で2次交通基盤を整備 「COCOONモビリティパッケージ」として、11事業者が共同で電動キックボード、レンタサイクルなどモビリティ拠点を開発
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> 「Smart Buddy」による行動変容（混雑回避と周遊化） 観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大 事業者連携で2次交通基盤を整備 		今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 「よこすか満喫きっぷ」に続き、「みさきまぐろきっぷ」、「葉山女子旅きっぷ」の常設デジタルチケット化を実現し、さらなる付加価値拡大を目指す。 観光型MaaS「三浦COCOON」の機能拡充を進め利用拡大を図る。 観光領域での実績拡大を活かし、都市型、沿線型といった生活領域へのMaaS基盤拡大 最終的には、MaaSレベル4（社会目標の統合）を実現し、データに基づくまちづくりとエリアマネジメントを目指す。